

全日本学生柔道連盟主催の 海外研修に参加して

コミュニケーション学科 4年次 岩永 祐輔

3月6日から15日までの日程で、全日本学生柔道連盟主催の海外研修でフランスへ行ってきました。フランスと言えば、『今や世界一の競技人口を誇る柔道大国で、世界レベルの大会でも多くの実績を残す強い国』というのが今回研修に参加する前までの私の印象でした。

柔道家という言葉が通じるフランスでは、日本以上に礼節を重んじ、柔道を心から愛している、という印象を受けました。また、小さい子どもから高齢の方まで幅広い年齢層の柔道家たちが同じ道場で柔道をしています。日本の私の周りではほとんど見られない光景でした。

日本選手団として、フランスの多くの道場に行き、稽古をしました。小さな道場でも50人以上の人が柔道衣に袖を通し、汗を流していました。また、私自身そのような環境で稽古することにフランスの柔道家たちが、柔道を通して、何を学び、大切にしているものが何なのかが見えてきました。それは第一に、礼節を重んじ自己の人間形成に努めるということです。

日本の柔道競技人口は約20万人といわれる中、その約3倍の58万人の競技人口を持つフランス。人数が多くなる程、礼節を重んじる等の基本動作はおそろかになるのではないかと。私自身、そんな考えを持っていましたが、実際は全く違い、どこの地域の道場でも礼の動作は徹底されて行われていました。もちろん日本でも礼節を重んじていますが、日本のそれ以上に大切にされていると感じました。強ければいいというような考えはフランスにはなく、柔道家として持つべき強さは、精神的な部分が大いであることを異国の地で、改めて学ばせてもらいました。

私は現在柔道部の主将を務めています。今回の経験を部員たちに伝え、団体としての競技力向上はもちろんのこと、より一層礼節を重んじ、個々の人間形成にも目を向けていきたいと思っています。そして広島国際大学の目的でもある、教養と豊かな人間性を持つ人材となるべく、より一層努力したいと思いました。



ボランティア部

ひがしひろしま音楽祭で学生たちが活躍!!

6月11日(土)・12日(日)に「2011 ひがしひろしま音楽祭」が開催され、本学のボランティア部、ダンス部、ヒューマンハーモニクス部の3団体が出演しました。例年、様々な場所で大活躍しているのはボランティア部!司会に進行補助、ステージの裏方と大忙しですが、その分、得た達成感は大きかったようです。また、ダンス部は今年度『ジャングル』をテーマに5部構成の野性的で活発的なダンスを披露しました。そして、ヒューマンハーモニクス部は、幅広い年齢層の方に楽しんでいただける4曲をセレクトし、熱いハーモニーを響かせました。3団体の活躍で音楽祭は大いに盛り上がりを見せていました。



ヒューマンハーモニクス部



学生たちが学外でボランティア活動に参加しました

春の全国交通安全運動最終日の5月20日(金)に東広島署員、交通安全協会メンバーの方たちと医療福祉学科3年次 萬行 裕紀さん、臨床心理学科3年次 山田 信明さんが、ゆめタウン東広島で交通安全啓発のボランティア活動に参加しました。飲酒運転の根絶やシートベルトの着用を訴えるチラシと反射板を配付し、多くの地域の方に交通安全について啓発活動を行うことができました。



ダンス部